

第4回 談話会

日時：2026年10月5日（月）17：00～18：30

場所：神奈川歯科大学附属病院 12階 講堂

腸管免疫異常が引き起こす 顎骨再生不全の細胞基盤解明

講師：中野将人先生

東北大学歯学研究科エコロジー歯学講座歯科保存学分野 助教

平成29年3月 新潟大学歯学部歯学科 卒業
令和5年3月 東北大学大学院歯学研究科歯科保存学分野
博士課程 修了
令和8年2月～ 現職



炎症性腸疾患（IBD）は腸管に限局せず、骨・関節・皮膚・眼など多臓器に及ぶ腸管外合併症を引き起こす全身性炎症疾患である。IBD患者では根尖性歯周炎（AP）の有病率が健常者の5倍ほどに達し、標準治療に対して難治性を示すことが報告されているが、その詳細は不明だった。演者らは、DSS誘発大腸炎マウスモデルを用い、腸管炎症が根尖周囲顎骨破壊を増悪させるメカニズムとして、骨髄由来好中球の過剰動員が中心的役割を果たすことを明らかにした。さらにレーザー誘起液体ジェットシステムによる免疫抑制剤の顎骨内局所投与がこの過剰炎症を抑制し、骨破壊を軽減することを報告した（Nakano et al., 2026）。本公演では口-腸関連軸による歯科疾患の増悪化についての知見を報告する。

担当部署：口腔生化学

神奈川歯科大学学会